

令和6年第12回 琴浦町教育委員会定例会 日程 (結果)

と き：令和6年10月28日(月) 13:30～

と ころ：琴浦町役場本庁舎 第1会議室

1 開 会

2 議事録署名委員の指名 (黒松委員、吉川委員)

3 教育長あいさつ

4 各課報告

(1) 教育総務課

- ・校区外・区域外就学の承認について
- ・令和6年度中部地区中学校駅伝大会の結果について
- ・令和6年度中部地区中学校新人大会の結果について
- ・学校運営協議会の運営に係る県外視察報告について
- ・主な学校行事

(2) 社会教育課

- ・各地区公民館まつり・作品展について
- ・部活動在り方検討会の報告について

(3) 人権・同和教育課

- ・「ことうら人権まなびの集い」の開催について
- ・琴浦町人権・同和教育推進協議会 社会教育部会研修会の開催について

5 報 告

報告第2号 令和6年度補正予算要求(10月補正)について

報告第3号 建設工事請負変更契約の締結について

[生涯学習センター空調設備改修その他工事]

6 その他

(1) 生徒指導報告について

(2) 計画訪問(後期)の日程について

(3) その他

7 閉 会

【次回の予定】定例会：令和6年11月27日（水）13時30分～

令和5年10月3日

教育長 河原裕司

～ 挨拶の力 ～

大栄中学校で校長をしていたとき、朝7時から7時40分まで、出張や休みでないときは、雨の日も雪の日も、通学路の中で車の交通量が多く信号機のない場所、由良2区の山陰合同銀行前の交差点にタスキをかけて立っていました。ヘルメットを被った中学生の姿を見た運転手の方が、すぐに止まってくださいます。私も本当にありがたく思い、停止していただいた運転手にお礼の意味を込めて頭を下げます。そんなことを続けていると、日に日に私の前を通過する際に会釈してくださる運転手の方が多くなってきました。会話をしたことをもたない方がほとんどですが、とてもうれしい気持ちになります。

また、よく地域の方が生徒の様子を伝えてくださるために学校を訪れてくれます。車に乗っているときに中学生を通過させるため一時停止をした際に、お辞儀をしてくれるのがとても気持ちいいという話や、田んぼで作業している自分に対して遠くから大きな声で挨拶してくれて、暑さで心が折れそうなときに本当に心が癒され、感激したという話など、挨拶の力の大きさ、大栄中生徒の陰ひなたのない素晴らしい態度を改めて感じさせていただき嬉しかったものです

挨拶には「おはようございます」などの言葉を発するものや会釈、お辞儀などがあります。挨拶はもともと仏教の言葉で、「挨」は心を開く、「拶」は相手に迫るという意味があります。自分から「おはようございます」と挨拶するのは、自分の心を開いて相手の心の扉をノックすること。それに対して「おはようございます」って返ってくれば、相手も心の扉を開いてくれた証拠です。だから、相手を思いやる心で挨拶することは大事だし、挨拶が返ってくるとうれしい気持ちになるのだと思うのです。

相談や手続きに来られる方、来客、業者の方、警備の方、ボックスに書類を取りに来られる主事さん、文化センターや体育館の方など、教育委員会に行くと、「こんにちは！」「お疲れさまです！」と、皆さんが笑顔で迎えてくれて、気持ちがいい。挨拶の力で、そんな場所にしたいと思うのです。

よろしく申し上げます。

令和6年10月教育委員会定例会報告

教育総務課

1. 校区外・区域外就学の承認について（別紙1）
2. 令和6年度 中部地区中学校駅伝大会の結果について（別紙2）
3. 令和6年度 中部地区中学校新人大会の結果について（別紙3）
4. 学校運営協議会の運営に係る県外視察報告について（別紙4）

5. 主な学校関係行事

10/18	学習発表会（浦安・八橋・聖郷・船上小学校）
10/18	CHA ³ プログラム（東伯中学校）
10/25	学習発表会（赤碕小学校）
11/2	中学校文化祭（東伯中学校・赤碕中学校）
11/6	芸術鑑賞会「踊ってみよう！フラメンコ!!」（赤碕中学校）
11/11	計画訪問（八橋小学校）
11/12	鳥取県中学校駅伝
11/20	計画訪問（船上小学校）
11/22	体験的学習活動等休業日

校区外就学の承認について

次のとおり、琴浦町立小学校及び中学校の校区外就学等に関する認定要綱(平成20年教育委員会訓令第3号)第2条の規定に基づき承認しました。

【校区外就学】

番号	学年	校区外就学校	指定校	校区外就学期間	認定要件	備考
1	中2	赤碕中学校	東伯中学校	令和6年10月1日～ 令和8年3月31日まで	(1)	新規(兄弟)
2	小5	赤碕小学校	八橋小学校	令和6年10月1日～ 令和8年3月31日まで	(1)	新規(兄弟)
3	小2	赤碕小学校	八橋小学校	令和6年10月1日～ 令和11年3月31日まで	(1)	新規(兄弟)
4	新小1	八橋小学校	船上小学校	令和7年4月1日～ 令和13年3月31日まで	(3)	新規

〈参考〉

琴浦町立小学校及び中学校の校区外就学等に関する認定要綱(平成20年教育委員会訓令第3号)

(認定要件)別表(第2条関係)

(1) 学年中途等の転居の場合	(2) 新築等により転居予定先区域の学校に就学する場合(転居先住所が確定している場合に限る。)
(3) 小学生の保護者が共に仕事に従事し、児童の下校後、自宅に保護者がいない事情にある者で、預かり先所在地の指定校に就学を希望する場合	(4) 児童生徒の心身の事情、いじめ、不登校等により、指定校へ通学することが困難であり、当該事情に即応した他の学校への就学を希望する場合
(5) 通学の利便性など地理的事情による場合	(6) DV、家庭事情等により、住民票の異動手続きができない場合
(7) 部活動等学校独自の活動による場合	(8) 兄弟姉妹が指定校を変更し、通学している学校への就学を希望する場合
(9) 校区外就学の承認を受けている児童が、当該区域への中学進学を希望する場合	(10) 校区外就学の事由の解消に伴い、指定校が変更となる場合に、周囲の環境又は友人関係を維持するため、今まで通っていた学校に引き続き通学を希望する場合

令和6年度 中部地区中学校駅伝大会の結果について（報告）

教育総務課

10月10日（木）、東郷運動公園周回コースにて男女各10校が出場して、中部地区中学校駅伝大会が開催されました。その結果を以下のとおり報告します。

【女子】

東伯中学校 第6位
赤碕中学校 優勝（3年連続9度目）

（区間賞）2区 中西 好（赤碕）
3区 森本小亜楓（赤碕）
4区 吉田 めい（赤碕）

【男子】

東伯中学校 第3位
赤碕中学校は出場せず（記録会に出場）

（区間賞）4区 川崎 稟人（東伯）

東伯中学校男子及び女子チーム、赤碕中学校女子チームは、11月12日にヤマタスポーツパーク周回コースにて開催される鳥取県中学駅伝に出場します。



令和6年度 中部地区中学校新人大会の結果について（報告）

教育総務課

9月27日（金）・28日（土）の両日、中部地区中学校新人大会が開催されました。その結果を以下のとおり報告します。

【野球】

〈1回戦〉 東伯・赤碕 4－5 湯梨浜
〈3位決定戦〉東伯・赤碕 2－7 三朝・倉吉西・久米

【バレーボール】

〈予選リーグ〉東伯 0－2 大栄、 東伯 0－2 倉吉東
赤碕 0－2 鴨川、 赤碕 0－2 ペアーズ

【バスケットボール（男）】

〈1回戦〉 東伯・赤碕 41－89 河北

【ソフトテニス】

〈男子団体戦〉 東伯 河北に敗戦
〈女子団体戦〉 赤碕 (1回戦)赤碕 3－0 河北
(2回戦)赤碕 2－0 北条
(決勝)赤碕 0－2 三朝
〈男子個人戦〉 東伯 ベスト8 1ペア
〈女子個人戦〉 赤碕 第3位 1ペア

【バドミントン】

〈個人戦〉 ダブルス ベスト8 1ペア

【卓球】

〈男子団体〉
予選リーグ 東伯 3－0 倉吉東、 東伯 3－1 湯梨浜
赤碕 0－3 久米、 赤碕 0－3 北条
決勝トーナメント 東伯 3－1 久米
決勝 東伯 2－3 北条
〈男子個人〉2年男子 優勝、準優勝
〈女子個人〉1年女子 3位

【剣道】

〈男子団体〉東伯 第3位 〈女子団体〉東伯 準優勝
〈男子個人〉東伯2年男子 ベスト8 〈女子個人〉東伯1年女子 第3位

【相撲】

〈個人戦〉2年男子 優勝、準優勝

スポーツ・レクリエーション祭出場

【東伯中】ソフトテニス男子個人、卓球男子団体・個人、女子個人、剣道女子団体・個人、陸上競技

【赤碕中】ソフトテニス女子団体・個人、陸上競技

学校運営協議会の運営に係る県外視察報告書

教育総務課

学校運営協議会の運営等、本町が課題としている事柄について検討を進めるために、各校学校運営協議会委員による岡山市立山南学園訪問を実施し、学校及び岡山市立教育委員会から説明を受け、学校施設を見学した。その概要について報告する。

1 視察期日及び視察先

令和6年10月8日（火）岡山市立山南学園（岡山県岡山市東区北幸田 509-1）

2 参加者

別紙のとおり

3 視察先の概要

岡山市立山南学園は、従来あった4小学校（朝日・大宮・辛島・太伯）と1中学校（山南）を再編成し、令和4年4月1日に岡山県内初の義務教育学校として開校した学校である。施設一体型の義務教育学校で、1年生（小学1年相当）から9年生（中学3年相当）が同じ校舎で生活をしている。

教育目標を「自分を高め、未来を切り開く人材の育成」とし、9年間を通して、「グローバルな視点を持ち、世界で活躍する子ども（国際性）」、「地域を愛し、地域から愛される子ども（人間性）」、「豊かなコミュニケーション能力を備えた子ども（行動力）」の育成を目指している。

4 視察内容

（1）施設見学

- ・みらいファサード…児童生徒玄関に続く正面玄関及びスクールバスの乗降場所。
雨天時に傘をさすことなく乗降可能。
- ・生活科室・よつばホール…仕切り壁により広さ変更可能。グラウンドからの出入りも容易にしてあり、体育や生活科の学習等で活用。
- ・チャレンジ山南ルーム…プレゼンテーションルーム。壁一面にスクリーン機能をもたせ、デザイン張りのカーペットと五角形デスクを導入することにより、さまざまな人数での話し合い活動が可能。
- ・図書館…チャレンジ山南ルームとの往來を可能に。探究活動をより豊かに。
- ・英語教室…スタンディング形式の学習活動場面にも対応可能な高さ調節ができる机を導入。
- ・各教室…固定式プロジェクター、専用黒板を設置。
- ・廊下等…デジタルサイネージシステムを導入し、情報を大型ディスプレイで共有。
- ・サブアリーナ…主に前期課程（1～4年）の体育で利用。
- ・体育館…5～9年の体育等で使用。バスケットゴールは中学生の規格で全学年が実施。
- ・職員室…前期課程、後期課程の教員が1つの職員室に。校種間のスムーズな連携が可能に。
- ・サポーター室…PTA及び学校支援ボランティアが使用。コピー機や印刷機、トイレ、流し台等を設置。外部から鍵を開けることで中に入ることができる（PTA会長が鍵を管理）。室内から校舎への会議は開けることができない。

（2）行政説明

①岡山市地域協働学校について

- ・コミュニティ・スクール、認定こども園の学校評議員制度、中学校区連絡会を総称したもの。
- ・中学校区を単位とした「岡山型一貫教育」を縦のつながり、「岡山っ子育成条例」を基盤とする「岡山市地域協働学校」を横のつながりとして、2つの軸で「自立に向かって成長する子ども」の育成をめざしている。条例をもって、市民協働で子どもたちを育成する仕組みをつくっている。
- ・校長、地域住民代表、保護者代表、学識経験者等を委員とした「中学校区連絡会」を設置している。岡山型一貫教育の推進のため、それぞれの役割を協働する横のつながりである地域協働学校の視点を踏まえる意識の向上と協議の充実をねらっている。

②義務教育学校の開校の経緯

- ・児童数の減少を懸念した連合町内会長同士が相談され、地域から「義務教育学校開校を」という要望があがったのがスタート。

- ・平成30年度に、地域が「山南学区の教育を考える会」を立ち上げ、学校説明会を実施。翌年3月に地元合意を得た。4月には学校園・保護者・地域住民により構成される「山南学園（仮称）設立協議会」へ移行して、岡山市教育委員会と連携して開校に向けての協議・決定を進めた。新しい学校の施設面と教育課程については、学校と教育委員会で5部会からなる「山南義務教育学校準備チーム」を立ち上げ、設立準備業務を行った。令和4年4月に開校。

(3) 学校説明

①山南学園の教育について

- ・4-2-3制を導入。初等部（1～4年）、中等部（5・6年）、高等部（7～9年）としている。
- ・9年間の一貫した教育を通して育成をめざす子ども像を策定し、それにせまるための系統的・計画的な教育活動を実施。
- ・外国語活動、外国語教育の充実を図る。（小1から英語活動を実施。ALTのフルタイム配置。）
- ・総合的な学習の時間「山南ふるさと学習」の実施
（ESDの視点を取り入れた系統的なカリキュラム編成、地域人材・資源の活用、学校運営協議会のかかわり）
- ・きょうだい学年（1・6年、2・7年、3・8年、4・9年、年長・5年）を設定し、学活等で交流活動を実施
- ・5、6年生から希望者が部活動に参加することができる
- ・技術家庭科や音楽等において、専科教員による指導を実施。教員の持ち時間数の軽減につながる。
- ・小学校の教員が7年生の数学の授業に指導者として入ったり、中学校の教員が5・6年生の理科の授業を行ったりしている。
- ・部活動や後期課程の先生の指導に早くから接することで、中1ギャップの解消ができる。
- ・タブレット端末はChromebookを使用。学習ソフトはミライシード。来年度より岡山市では全小・中・義務教育学校にミライシードが導入されるとのこと。

②義務教育学校導入の成果と課題について

（成果）

- ・前期課程児童の存在もあり、後期課程生徒が情操面でいい成長を遂げている。自己有用感、自己肯定感も向上した。
- ・後期課程の教員が前期課程の授業を受け持つことで、前期課程で効果的で余裕のある教科担任制が実施できる。
- ・教職員が9年間の学びのつながり、成長段階を意識して指導するようになった。
- ・前期課程・後期課程の壁を越えて、教職員が協力して児童生徒の指導に関われる。
- ・それぞれの課程の教員にとって、他校種の教員の取り組み方からの学びがある（小→中：研究推進、中→小：生徒指導対応）
- ・部活動や後期課程の教員の指導に早くから接することで、中1ギャップが解消できる。
- ・総合的な学習の時間を9年間のビジョンで計画でき、教育効果が大きい。

（課題）

- ・1日の生活時程の設定（小：45分授業、中：50分授業）
- ・「生活の決まり」の設定（統一する部分と部別にする部分）
- ・6年生のリーダー的意識の低下
- ・行事での活躍の場の減少

③コミュニティ・スクールの推進について

- ・学校運営協議会のメンバー（30人で構成）

校長、教頭、こども園・保育園長、PTA代表、連合町内会長、主任児童委員代表、各地区体育協会代表、青少年育成協議会代表、山南公民館長、プラザ山南館長、犬島自然の家所長、学校支援ボランティア代表、スポーツ少年団代表、学童保育代表

※委員の選出について、4地区のバランスを考えている。

- ・3つの部会を設置

知育部会（学びスクール・家庭教育・ふるさと教育・各種検定・文化的行事への支援）

体育部会（部活動地域移行検討・体育的行事の企画・支援）

地域連携部会（地域交流促進・環境整備・防犯啓発）

- ・企画委員会で各種取組の原案づくり
 構成員：会長、副会長、連合町内会長、専門部長、校長、教頭
- ・山南サポーターズ（学校支援ボランティア）が地域学校協働活動を下支え。
 当日もランチルームを使って、「学びスクール」が開催されていた。地域住民が初等部児童のスクール時間の待ち時間で宿題等に取り組むのを見守っておられた。

（４）質疑応答

- 地域の方の協力はどうか。
 →1年目は、「小学校がなくなってさみしい」と学校ができたことに対する反対の声が大きかった。そのような状況の中で「山南ふるさと学習」に取り組んだ。それぞれの地域を見つめ直し、地域のよさを再発見する学習をともに運営する中で、私たちの地域のことを考えてくれているという地域の方の思いが高まり、実際に目にする子どもたちの姿から地域の安心感が高まり、地域の方の協力が増えていった。
- タイムマシン活動で子どもたちはどのようなことを感じているのか。
 →9歳にまたがる異学年交流により、初等部の生徒にとっては高等部の生徒がよきモデルとなり、また、高等部の生徒にとってもよきモデルでありたいという思いが生まれ、よい結果につながっている。
- 旧大宮小地域の願いから小学校開校に向けて動き始めているが、小規模校同士の統合でいいのではないかという意見にはならなかったのか。
 →今後さらに児童生徒数が減少していくことが想定されている中で、統合してもすぐに統合の検討の必要性が生まれる。それならば、中学校区を1つの地域として一度に一緒にしようという考えに至ったようである。
- 学校運営協議会について、まだまだ地域の方の認知度が高まっていないという思いを持っている。山南学園では学校運営協議会の仕組みや在り方について、どのように地域住民に周知しているのか。
 →まずは学校運営協議会を充実させることに取り組んでいる。協議題をしぼり、会が充実するように配慮している。学校をよく知っていただくことが大切だと考えている。

5 感想

「岡山型一貫教育」と「地域協働学校」（市民協働で子どもたちを育成していく仕組みを条例で定めている）という2つの縦横のつながりを作り、学校・家庭・地域で子どもたちを育成していこうという考えがよくわかった。中学校区で「連絡会」を設置し、0歳から18歳までの系統的な育ちを考え、それぞれの立場でどのようにかかわっていくのか議論されている部分も参考となった。

訪問された各学校の学校運営協議会委員の皆さんも、地域開放の視点をもった学校のつくり、ICT機器等、最新の学校設備に興味をもって視察をされていた。

また、バスの中においても他校の委員と会話されることで、町内の横のつながりづくりにも寄与したのではないかと考える。

各学校の委員には持ちかえったことを自校の学校運営協議会で還元していただき、自校の学校運営協議会をより盛り上げていただくことを期待したい。

(別紙)

岡山市立山南学園視察 参加者名簿

番号	学校名	職名等	氏名	備考
1	琴浦町立浦安小学校	学校運営協議会委員	森下 義雄	
2	琴浦町立聖郷小学校	校長	田中由佳理	
	琴浦町立聖郷小学校	学校運営協議会委員	山本 清人	欠席
3	琴浦町立聖郷小学校	学校運営協議会委員	伊藤 等	
4	琴浦町立八橋小学校	学校運営協議会長	清水 雅彦	
5	琴浦町立八橋小学校	校長	園 博行	
6	琴浦町立赤碕小学校	学校運営協議会委員	高尾 裕子	
7	琴浦町立赤碕小学校	学校運営協議会委員	三浦 孝司	
	琴浦町立赤碕小学校	教 頭	岸本 隆治	欠席
8	琴浦町立船上小学校	学校運営協議会長	永田 彰寿	
	琴浦町立船上小学校	学校運営協議会委員	大石陽一郎	欠席
9	琴浦町立東伯中学校	学校運営協議会委員	竹中 徳	
	琴浦町立東伯中学校	学校運営協議会委員	秋山 美紀	欠席
10	琴浦町立赤碕中学校	学校運営協議会委員	澤田 直美	
11	琴浦町立赤碕中学校	校長	山本 稔	
	琴浦町教育委員会事務局 教育総務課	参事兼指導主事	福嶋 直美	欠席
12	琴浦町教育委員会事務局 教育総務課	課長補佐兼総務係長	住吉 康弘	
13	琴浦町教育委員会事務局 教育総務課	参事兼指導主事	岸田 和久	

1. 各地区公民館まつり・作品展の開催について

下記一覧表のとおり開催されますので、ご案内します。

名 称	日 時	会 場
下郷公民館まつり	10月27日(日) 9:00~15:00	下郷地区公民館
森の芸術展	11月9日(土)~11日(月) 9:00~16:00	古布庄地区公民館
以西地区住民作品展	11月11日(月)~17日(日) 9:00~16:00 ※17日のみ:9:00~12:00	旧以西小学校 ランチルーム
八橋地区公民館まつり	11月17日(日) 9:00~16:00	八橋地区公民館
ワイワイ祭り in 安田	11月17日(日) 10:00~13:00	旧安田小学校体育館
上郷地区公民館まつり	11月23日(土) 9:30~16:00 24日(日) 9:30~12:00	上郷地区公民館

2. 部活動在り方検討会の会議報告について

別紙のとおり報告します。

1、令和7年度の取り組み

夏休み期間中、以下の2部について、東伯中学校・赤碕中学校合同での部活動を実施し、地域移行の可能性について諸課題の把握、整理を行う。

	場所	備考
卓球部	農業者トレーニングセンター	両校の部活動生徒が対象。 臨時バスなど移動手段の確保が必要。
バドミントン部	東伯中学校体育館	部としては、東伯中学校のみ。 赤碕中生は、クラブチーム所属の選手が対象。

【意見】

- ・少しずつ地域の協力を得ながら進めて行けたらいいのではないか。
- ・目指すところは、東伯・赤碕両中学校の部活動をどう維持していくか。また、子どもが少なくなる中でも、多くの競技、運動ができる環境の維持・整備をしていきたい。

2、今後のスケジュール

令和6年10～11月 各競技関係者、顧問の先生と詳細を詰める

12月 令和7年度予算 当初要求

令和7年4月～6月 生徒・保護者説明会

令和7年夏休み 本番

3、琴浦町の方針

- ・中学校部活動に部活動指導員や外部指導者を積極的に配置し、まずは休日における部活動指導について、可能な限り地域連携を進めていく。
- ・同時に地域移行の可能性についても検討を進めていく。

4、町内の状況

①外部指導者 配置競技：卓球部（東伯中）3名

②部活動指導員 配置競技：バドミントン（東伯中）1名、剣道（東伯中）1名
バレーボール（赤碕中）1名、剣道（赤碕中）1名
ソフトテニス（赤碕中）1名

1 「ことうら人権まなびの集い」の開催について

(1) 趣旨

一人ひとりの違いを認め合い、共に生きる社会の実現に向け、町民と共に様々な人権について考える「ことうら人権まなびの集い」を開催します。

今年度のテーマは、「人権と平和」～すべての子どもたちに希望と笑顔を～とし、世界各地で紛争や戦争が起きている今、人権と平和の大切さについて考える機会とします。

日 時 令和6年12月1日（日）10:00～15:30

会 場 赤碕地域コミュニティーセンター 多目的ホール他

※詳細は別添チラシのとおり

2 琴浦町人権・同和教育推進協議会 社会教育部会研修会の開催について

日 時 令和6年11月25日（月） 13:30～15:00

内 容 ヤングケアラーについて

会 場 本庁舎 防災会議室

講 師 N.K.C ナーシングコアコーポレーション合同会社
神戸 貴子さん

※福祉部会との合同研修会になります。

入場無料
参加申込不要

令和6年度 法務省委託事業



ことうら人権まなびの集い

12月1日(日)

10:00~15:30

ご来場のみなさんに、琴の浦高等特別支援学校の生徒さん手作りのシフォンケーキをプレゼント!
(数に限りがあります。)



赤碕地域コミュニティセンター (役場分庁舎)

午前の部 3階会議室イベント

🕒 10:00~11:30

10:00~

- 人権イメージキャラクター
「人KENまもる君」「人KENあゆみちゃん」
のプラバンづくり
(倉吉人権擁護委員協議会提供)

11:00~11:30

- 人形劇「はしのうえのおおかみ」
(倉吉人権擁護委員協議会提供)

※午前中のイベントに参加した
子どもたちには、プレゼントがあるよ!



午後の部 多目的ホールイベント

🕒 13:00~15:15

13:00~

- 開会式
- オープニング
小学生解放「学習会」の子どもたちによる
手話ソング 童謡『にじ』の発表

13:45~15:15

- 人権講演会



西野旅峰さん

「旅という火と旅からの風」
~世界の子どものたちの現場から~
にしの りよお
西野 旅峰さん (自転車冒険家)

【その他の催し等】

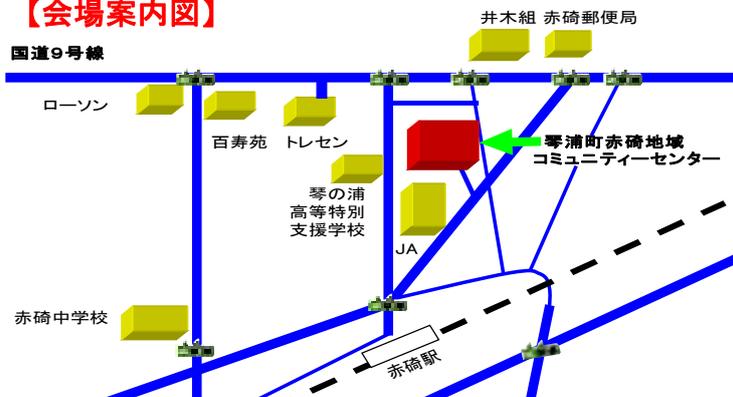
10:00~15:30 2階 ロビー

- 人権啓発パネル展
「子どもたちにやさしい地球を残そう」/ユニセフ
- 作品展
赤碕文化センター小学生解放「学習会」
東伯文化センター人権学習会
- 小中学生人権標語

15:00~15:30 1階 ロビー

- 野菜や果物などの販売 (東伯けんこう)

【会場案内図】



○手話通訳・要約筆記を行います。

○未就学児の託児を行います。※11月21日(木)までに人権・同和教育課にお申し込みください。

○その他支援が必要な場合は、事前に人権・同和教育課にご相談ください。

(裏面もあります)

主催 琴浦町人権・同和教育推進協議会 / 琴浦町 / 琴浦町教育委員会

問い合わせ 琴浦町教育委員会事務局 人権・同和教育課 電話 0858-52-1162

(午前の部)10:00~11:30 3階 会議室

参加した子どもたちに、「人KENまもる君」「人KENあゆみちゃん」のマスコットキーホルダー、おりがみ、メモ帳のセットをプレゼント!



▶10:00

「人KENまもる君」、「人KENあゆみちゃん」
のプラバンづくり

▶11:00~11:30

人形劇「はしのうえのおおかみ」

【提供:倉吉人権擁護委員協議会】



(午後の部)13:45~15:15 2階 多目的ホール

▶開会式 13:00~
オープニング

小学生解放「学習会」の子どもたちによる手話ソング 童謡『にじ』の発表

▶人権講演会 13:45~15:15

演題 「旅という火と旅からの風」 ~世界の子どもの現場から~

講師 ^{にしの}西野 ^{りよお}旅峰さん(自転車冒険家)

氷点下60℃から60℃に迫る過酷な環境で、自分はどこまで耐えられるのか?

自転車による南米縦断を皮切りに北南米縦断、欧州・アフリカ縦断と続く旅路の中、貧困や差別、争いで傷ついた人々を目にするようになり、いつしかテーマは「自分」から「人間」へと変わっていった…。

世界の写真とともに「しあわせ」や「生きる」とは何かを考える。



(講師 西野旅峰さん)

【西野旅峰さん提供写真】



【講師プロフィール】

1982年、山口県下関市生まれ。テレビのない家に生まれ、本に囲まれて過ごす。

大学在学中に自転車による旅を始動。氷点下55℃での野宿や、55℃でのサイクリングなど自分の限界への挑戦や、紛争地域を訪れ生存者に取材を重ねるなど、それぞれの旅にテーマを設けて、特に人間の負の現実には焦点を当てた旅を行う。

現在は、広島大学大学院に在籍し、平和構築について研究を行っている。

報告第2号

令和6年度補正予算要求（10月補正）について

令和6年度教育費補正予算を要求することについて、琴浦町教育委員会教育長に対する事務委任規則第3条の規定により10月23日付けで臨時に代理したので、報告します。

令和6年10月28日 提出

琴浦町教育委員会教育長 河原裕司

《参考条文》

○琴浦町教育委員会教育長に対する事務委任規則

（臨時代理）

第3条 教育長は、前条第1項各号に掲げる事務について緊急に処理する必要があると認める場合において、教育委員会を招集するいとまがないとき又は教育委員会の会議が成立しないときは、これを臨時に代理することができる。

2 教育長は、前項の規定により前条第1項各号に掲げる事務を臨時に代理したときは、次の教育委員会においてこれを報告しなければならない。

令和 6 年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	262・280	事業名	一般教育振興費			事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
担当課	教育総務課		担当係						
予算区分	款	9	教育費	項	2.3	小学校費・中学校費	目	2	教育振興費
まちづくり ビジョン	②子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				①子どもの成長に寄り添い、まちの特色を活かした教育の推進				
重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開								

2 補正後の事業費等

項目	補正前 (千円)	今回 補正額 (千円)	財源内訳					備考	
			国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
5号補正 10月臨時	53,231	1,885	0	0	1,885	0	0	寄附金1,885千円	
補正後 (千円)		55,116	2,143	204	15,786	15,000	21,983		

3 事業の概要

補正の概要	町内事業所等から小中学校の教育振興を目的に寄附の申し出を受けたため、各校の備品購入費として計上するもの。				
補正の内容	(単位：千円)				
	細事業等	内容	補正額	財源内訳	
	教育振興費	小学校備品購入費	1,285千円	1,885	寄附金
		中学校備品購入費	600千円		
合計			1,885		

第 2 表 繰越明許費

(単位：千円)

款	項	事業名	金額
9.教育費	4.社会教育費	生涯学習センター地下駐車場消火設備改修事業	112,200

報告第3号

建設工事請負変更契約の締結について

〔生涯学習センター空調設備改修その他工事〕

建設工事請負変更契約の締結に係る議案を令和6年10月23日琴浦町議会臨時会に提出しましたので、本委員会に報告します。

変更後	変更前
4 請負金額 一金 <u>359,285,300円</u>	4 請負金額 一金 <u>339,900,000円</u>

備考 変更部分は、下線の部分とする。

令和6年10月28日 提出

琴浦町教育委員会教育長 河原裕司

令和6年10月教育委員会定例会報告

社会教育課

1 概要

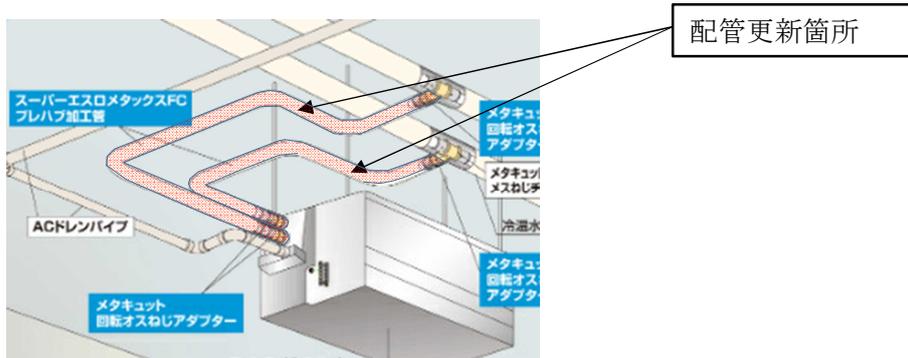
(1) 生涯学習センター空調設備改修その他工事について、劣化部分が新たに見つかったため、予算の範囲内で変更契約を行う必要が生じたもの。工事費を19,385千円増額し、変更契約金額359,285千円となる見込み。

(2) 生涯学習センター地下駐車場消火設備改修工事について、設計業務完了により工期が6カ月を要することが分かり、年度内に事業完了することが難しいため、繰越しを行うもの。

2 生涯学習センター空調設備改修その他工事の変更点の概要

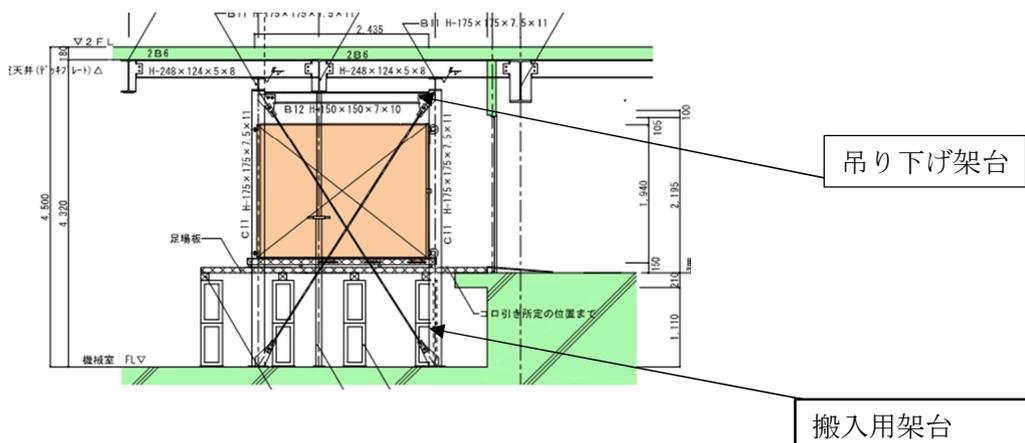
(1) 配管更新工の追加 (8,719千円増)

9月5日に、図書館天井に設置してある空調から、水漏れが起こった。調査の結果、空調機器に冷温水を供給する配管の劣化が判明した。その他の場所でも同様の事態が起きる可能性があるため、配管の更新を追加する。



(2) 地下機械室の冷温水発生機搬入に要する仮設設備の追加 (3,449千円増)

冷温水発生機の搬入方法を詳細に検討した結果、搬入用架台、吊り下げ架台の設置が必要ことが判明したため、追加を行う。



(3) 図書館本棚の移動、養生費用の追加 (2,644 千円増)

図書館に空調機器を設置する際に、既設の本棚が支障となる。支障となる本棚、蔵書の移動を工事費に見込む。また、施工中に舞う粉塵から蔵書を守るため、本棚をシート等で保護する。

(4) 冷却塔基礎の補強、架台の追加 (1,710 千円増)

屋外（生涯学習センター東側駐車場）に設置されている冷却塔のコンクリート基礎が劣化しているため、補強を行う。また、コンクリート基礎と冷却塔の間に設置する架台も劣化が進行しているため、取替えを行う。

(5) その他（アスベスト調査、鉄道見張員、点検口の追加等）(2,863 千円増)

施工業者との打ち合わせの中で必要となったものについて追加する。施工前に届出が必要となるアスベスト調査の実施、鉄道に近接する工事となるので安全確保のため見張り員の追加、また、今後の維持管理を容易にするため、天井点検口の追加等を行うもの。

3 地下駐車場消火設備改修工事の繰越し

地下駐車場消火設備改修工事を令和6年12月から令和7年3月末までの期間で施工を行う予定であったが、詳細設計業務を行った結果、工期が6カ月程度かかることが判明したため、繰越しを行う。想定スケジュールは下表のとおり。

	R6			R7							
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
繰越承認	臨時議会										
入札		○									
本契約			定例議会	→							

※必要工期：準備期間 2.5 カ月、実施工期間 3.5 カ月

令和6年度 後期町教委計画訪問 詳細日程の計画表

河原教育長、森田委員、黒松委員、鍛川委員、吉川委員
 桑本教育総務課長、山根社会教育課長、三好人権・同和教育課長
 中部教育局（係長、指導主事） 岸田参事兼指導主事 福嶋参事兼指導主事

2 日程等

期 日	学校名	日 程	教育局
11月11 日 (月)	八橋 小学校	訪問時間	内容
		・ 10:10～10:40	取組の経過報告 等
		・ 10:40～11:25	3時間目の学習参観・環境確認
		・ 11:30～12:00	懇談会
			青木 指導主事
11月20 日 (水)	船上 小学校	訪問時間	内容
		・ 13:00～13:30	取組の経過報告 等
		・ 13:35～14:20	5時間目の授業参観・環境確認
		・ 14:25～14:55	懇談会
			嘉戸係長